

事務事業評価表（平成29年度）

Header table with columns: 事業コード (301), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main project overview table (1. 事業の概要 (PLAN)) containing sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial breakdowns.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns for 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む)), and 改善検討. Includes sections for (1) 必要性, (2) 市民の参加や市民との協働, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性, and (6) 事後評価.

3. 事後評価

Summary table for 事後評価 with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他 (事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表（平成29年度）

Header table with columns: 事業コード (304), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, (8) 施行事項, (9) 財源内訳, (10) 人件費等, (11) 単位費用.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定は適切か?, (5) 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表(平成29年度)

Header table with columns: 事業コード (305), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要(PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, (8) 施行事項, (9) 財源内訳, (10) 人件費等, (11) 単位費用.

2. 事業の評価(DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定は適切か?, (5) 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（平成29年度）

Header table with columns: 事業コード (306), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for fiscal years 28, 29, 30, and 31.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a status legend at the top.

事務事業評価表（平成29年度）

Header table with columns: 事業コード (307), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial data for fiscal years 28, 29, and 30.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, citizen participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a progress status row (現状どおり推進, 拡充, etc.) and a comment field.

事務事業評価表（平成29年度）

Header table with columns: 事業コード (308), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre/post evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表（平成29年度）

事業コード	310	課コード	0402	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	排出指導対策事業	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	環境経済部・クリーンセンター		
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市					
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	4人 (換算人数)		1人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円	当該(開始)年度	(当初)	14,202千円 (うち人件費 8,800千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	12102	重点プロジェクトへの位置づけ	重点1	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名) 一般廃棄物対策基本計画
(2) 目的	施策目的・展開方向	資源を大切に、資源の循環を進める暮らしを実現するため、市民、事業者、市が一体となって、総ごみ排出量の削減と福島第一原発事故以前の全国トップレベルの資源化率を回復するとともに、新たな廃棄物処理施設の整備に合わせた効果的なごみと資源の分別の研究などに取り組み、ごみの発生抑制を軸と			事業目的	ごみ集積所で発生する諸問題に的確に対応し、市民、事業者、市が一体となってごみの減量を図ると共に3Rの意識を高める。				
(3) 事業内容	内容	<ul style="list-style-type: none"> ごみ集積所に排出された物が起因する問題の対応。 自治会等に資源回収用具の配布。 行政機関へカレンダー等の設置。 クリーンカレンダー及び分け方出し方の作成。 資源回収用具管理業務委託に関する説明会。 			当該年度執行計画	<ul style="list-style-type: none"> ごみや資源等の排出指導、資源回収用具配布等は随時。 資源物持ち去りが多い地区の早期パトロールは適時。 自治会等に資源回収用具当番に関する意向調査(7月)集計(10月)。 あびこグリーンカレンダー作製(12月)配布(3月)。 事業所の排出指導は随時。 集積所管理計画書の整備。 				
		当該年度活動結果指標	パトロール、排出指導、用具配布の回数。		単位	回	想定値	150		実績値
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値
当該(開始)年度	市民からごみに関する苦情を無くし、ごみ減量のため分別の必要性を理解してもらう。				直接	指導件数		件	11	9
3年後	同上				直接	指導件数		件	0	8
最終(概ね5年後)	同上				直接	指導件数		件	0	6
(7) 事業実施上の課題と対応	分別状況の悪い集積所や資源持ち去り等には早期パトロールを実施。集合住宅などは管理会社やオーナーに連絡を取り指導。				代替案検討	○有 ●無				
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		消耗品(資源回収袋等)	3,509	消耗品(資源回収袋等)	3,053	消耗品(資源回収袋等)	3,053	消耗品(資源回収袋等)	3,053	
		印刷製本(カレンダー等)	2,376	印刷製本(カレンダー等)	789	印刷製本(カレンダー等)	789	印刷製本(カレンダー等)	789	
		車両維持費	321	委託料	1,024	委託料	1,024	委託料	1,024	
臨時職員賃金	680	車両維持費	252	車両維持費	252	車両維持費	252			
委託料	1,704	廃棄物処理委託料(動物)	284	廃棄物処理委託料(動物)	284	廃棄物処理委託料(動物)	284			
予算(済)額	合計		8,590	合計		5,402	合計		5,402	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0
	一般財源	8,590		5,402		5,402		5,402		
その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他		0		□特会 □受益 □債務 □基金 □その他		0		□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	
(10) 人件費等	換算人数(人)	1.25		1		1.2		1.2		
	正職員人件費	11,000		8,800		10,560		10,560		
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0		
	臨時職員賃金額	1,201		0		0		0		
事業費(予算(済)額+正職員人件費)	19,590		14,202		15,962		15,962			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	130.6千円/回		94.68千円/回							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
	資源循環型社会構築には、市民、事業者、市の三者が連携することによりごみの減量及び資源の有効利用を図るためには必要です。				<input type="checkbox"/> ①事前確認での想定どおり <input type="checkbox"/> ②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由)		□法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		□民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった		□市が主導で進めなければ実効性がなかった □市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □サービス水準が確保された □サービスの安定供給基盤が確保された □その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	○要 ○不要
	●②自治体である市が推進すべきである(理由)		■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		□民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった		□市が主導で進めなければ実効性がなかった □市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □サービス水準が確保された □サービスの安定供給基盤が確保された □その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	○要 ○不要
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容			工夫の具体的な内容			実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)			参加・協働の程度・内容
	<input type="checkbox"/> ①事業計画時に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ②事業実施時に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ③管理・運営に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ④市民の自主的な活動と連携している <input type="checkbox"/> ⑤市民と共同で事業を実施 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥その他 <その他の内容>なし									<input type="checkbox"/> ①当初期待した以上 <input type="checkbox"/> ②当初期待したとおり <input type="checkbox"/> ③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点			取組む内容			実施した具体的な内容			環境への配慮
	<input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> ⑤その他 <その他の内容>なし									<input type="checkbox"/> ①想定どおり <input type="checkbox"/> ②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(件)	目標値(b)(件)	目標値の妥当性のチェック			達成状況	達成率(%)			○①目標値達成 ○②目標値未達成
	11	9	<input type="checkbox"/> ①客観的なデータ・事実に基づき設定している <input checked="" type="checkbox"/> ②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない <input type="checkbox"/> ③現況値との差が小さい値ではない <input type="checkbox"/> ④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である			実績値(f)(件)	達成率(%) (b/f×100)		<目標を達成した理由/未達成となった原因>	○要 ○不要
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策			実施状況		事業費の削減対策について		
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	<input type="checkbox"/> ①国・県助成制度活用 <input type="checkbox"/> ②現有体制での対応 <input type="checkbox"/> ③維持管理費の削減策の実施 <input type="checkbox"/> ④民間委託	<input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 <input type="checkbox"/> ⑥受益者負担 <input type="checkbox"/> ⑦その他	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100		<input type="checkbox"/> ①想定事業費未済 <input type="checkbox"/> ②概ね想定事業費以内 <input type="checkbox"/> ③想定事業費超過 <想定どおり削減できなかった原因>	○要 ○不要	
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法			達成状況		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		
	0.06	単位	費用単位	<input checked="" type="checkbox"/> ①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 <input type="checkbox"/> ②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費			実績値(h)	対目標値(%) (e/h)×100		<input type="checkbox"/> ①目標値以上 <input type="checkbox"/> ②目標値と同程度 <input type="checkbox"/> ③目標値以下

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------

事務事業評価表（平成29年度）

Header table with columns: 事業コード (311), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for fiscal years 28, 29, 30, and 31.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 事業が今必要である理由・背景, (2) 市が実施する必要性, (3) 参加・協働の工夫, (4) 環境への配慮, (5) 目標設定は適切か?, (6) 事業費削減の工夫, (7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か?

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a row for 評価 and a row for 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（平成29年度）

事業コード	312	課コード	0402	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	ごみ減量・資源化の啓発事業		実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	環境経済部・クリーンセンター		
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	○我孫子 ○天王台 ○湖北 ○新木 ○布佐 ■全市					
	⑤事業期間	～			⑥担当職員数	2人 (換算人数)		0.2人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	1,800千円 (うち人件費 1,760千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	12102	重点プロジェクトへの位置づけ	重点1	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向	資源を大切に、資源の循環を進め、暮らしを実現するため、市民、事業者、市が一体となって、総ごみ排出量の削減と福島第一原発事故以前の全国トップレベルの資源化率を回復するとともに、新たな廃棄物処理施設の整備に合わせた効果的かつ効果的なごみと資源の分別の研究などに取り組み、ごみの発生抑制を軸と			事業目的	ごみの減量及び資源化を推進するため、3R「リデュース（排出抑制）、リユース（再利用）、リサイクル（再生利用）」や環境行政に関する適切な情報提供を行うことにより、市民や事業者の意識向上を図ることで事業への積極的な取り組みが期待できる。					
(3) 事業内容	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・3R啓発パンフレットの作成、配布 ・自治会を通じて啓発活動の実施 ・資源分別の徹底 ・わかりやすいホームページに改め啓発を行う ・広報でのPRや環境リサイクル年報での周知 ・ふれあい工房によるフリマや家具バザーの活用 			当該年度執行計画	<ul style="list-style-type: none"> ○主な取組の執行計画 ・小型家電の回収協力の周知 ・自治会を通じて啓発活動の実施 ・資源分別の徹底指導（早朝指導、自治会を通じての周知） ・ホームページでの啓発 ・広報や環境リサイクル年報での周知 					
		当該年度活動結果指標	資源化率（H27年度 24.4%）	単位	%	想定値	25	実績値			
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該(開始)年度	3R推進によるごみの減量と資源化				間接	資源化率		%	24.4	25	
3年後	同上				間接	同上		%	0	27	
最終(概ね5年後)	同上				間接	同上		%	0	30	
(7) 事業実施上の課題と対応	市民・事業者・市と協働により、ごみの減量と資源化の推進がすすんでいるが、基本計画に基づく数値目標には届いていない。引き続き、広報やホームページ等の利活用により啓発活動を行い、市民・事業者の協力を仰ぐ必要がある。				代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
			キャンペーン用消耗品 石けん購入	40		キャンペーン用消耗品 石けん購入	40		キャンペーン用消耗品 石けん購入	40	
		予算(済)額	合計	40	合計	40	合計	40	合計	40	
		国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	
県支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%			
起債	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%			
一般財源		40		40		40		40			
その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0			
(9) 財源内訳	換算人数(人)	0.4		0.2		0.6		0			
(10) 人件費等	正職員人件費	3,520		1,760		5,280		0			
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0			
	臨時職員賃金額	0		0		0		0			
事業費(予算(済)額+正職員人件費)	3,560		1,800		5,320		40				
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	142.4千円/%		72千円/%								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	ごみの減量や資源化を推進するためには、3R「リデュース（発生抑制）、リユース（再利用）、リサイクル（再生利用）」についての情報提供や啓発により、環境負荷の少ない資源循環型社会の構築を目指すとともに、市民、事業者、行政が責任を持って対応していかねばならないもので、本事業の必要性は高いものと考えられる。放射能対策が必要な現状において、放射性セシウム137の半減期（30年）の半分（15年）程度の期間は、資源化よりも発生抑制や再使用により重点を置く方向性も考えられる。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	<ul style="list-style-type: none"> ○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input type="checkbox"/>法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/>提供主体が市しかない <input type="checkbox"/>その他 ●②自治体である市が推進すべきである(理由) <input type="checkbox"/>市が主導で進めることにより実効性が得られる <input type="checkbox"/>市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される <input checked="" type="checkbox"/>市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる <input type="checkbox"/>その他 		<その他の内容>		<ul style="list-style-type: none"> ○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給が確保された ○⑦その他 		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	<ul style="list-style-type: none"> ○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ●④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 		市民の資源化に対する努力を奨励させる事業				<ul style="list-style-type: none"> ○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	<ul style="list-style-type: none"> □①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 						<ul style="list-style-type: none"> ○①想定どおり ○②想定どおりでなかった 		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要	
	24.4	25	<ul style="list-style-type: none"> □①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である 		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)			
	<その他の内容> 該当なし				<目標を達成した理由/未達成となった原因>				
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ○不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	<ul style="list-style-type: none"> □①国・県助成制度活用 □②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託 □⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他 		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について		
	1,800	1,760	<削減の内容>		<超過理由等>		<ul style="list-style-type: none"> ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった 		
(3) 目標値を実現するために投じた事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ○不要
	1.39		単位	費用単位	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表（平成29年度）

Header table with columns: 事業コード (314), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, goals, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表(平成29年度)

Header table with columns: 事業コード (315), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with checkboxes for progress and expansion directions.

Final evaluation table with columns for 評価 (Evaluation) and 改善策及び展開方向 (Improvement and expansion directions).

事務事業評価表（平成29年度）

Header table with columns: 事業コード (316), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討

3. 事後評価 - Post-evaluation section header

Table for post-evaluation with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表（平成29年度）

Header table with columns: 事業コード (317), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple sub-tables for various criteria like necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a progress status table.

Final evaluation table with columns for 評価 (Evaluation) and 改善策及び展開方向 (Improvement measures and development direction).

事務事業評価表（平成29年度）

Header table with columns: 事業コード (318), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project overview table including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation table with columns for evaluation items, pre/post evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a table for evaluation comments and improvement directions.

事務事業評価表（平成29年度）

Header table with columns: 事業コード (319), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre/post evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表（平成29年度）

Header table with columns: 事業コード (320), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for fiscal years 28, 29, and 30.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, citizen participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a status legend at the top: 〇現状どおり推進, 〇拡充, 〇縮小, 〇結合, 〇休止, 〇廃止, 〇事業手法見直し, 〇その他(事業完了など).

事務事業評価表（平成29年度）

事業コード	321	課コード	0402	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	高齢者ごみ出し支援ふれあい収集事業		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	環境経済部・クリーンセンター		
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市					
	⑤事業期間	平成14年度 ~			⑥担当職員数	2人 (換算人数 0.4人)					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	16,489千円 (うち人件費 3,520千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	33201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点5	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名) 一般廃棄物対策基本計画	
(2) 目的	施策目的・展開方向	高齢者が住みなれた地域で安心して暮らし続けることができるよう、身近な場所で必要なサービスを利用できる環境をつくります。また、高齢者の介護や生活を地域で支えられるよう、地域住民による見守りネットワークや新聞、郵便、宅配等の民間事業所との連携による見守り体制（地域高齢者安心ネットワーク）の構築しながら戸別収集する。また、収集業務を適正に遂行できる業者を選定し委託により実施する。			事業目的	・ひとり暮らしの高齢者や障害者などのごみ出しの負担を軽減し、自宅での生活を支援する。					
(3) 事業内容	内容	① 申し込みが困難なひとり暮らしの高齢者や身障者などを対象に家庭ごみ、資源、雑芥ごみを声掛けを行いながら戸別収集する。また、収集業務を適正に遂行できる業者を選定し委託により実施する。 ② 申し込み：希望者は電話やFAXなどでクリーンセンターに申し出る。 ③ 面談調査：担当者は、日程調整の上希望者と面談し、ごみ出しの状態や収集に関する要望を確認する。 ④ 審査、通知：面談の結果により可否を決定し、その旨を希望者に通知する。 ⑤ 収集の開始 ⑥ 集積所違反排出物回収業務 ⑦ 集積所に排出されたごみや資源に注意シールを貼られて2週間を経過した排出物の回収をする。			当該年度執行計画	・申込み受付及び面談、可否決定、通知等随時 ・新規申し込み等業者に収集依頼 ・業者との連絡調整					
		当該年度活動結果指標	新規利用件数	単位	件	想定値	44	実績値			
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該(開始)年度	必要な人に適正に利用してもらう				間接	可決率		%	100	100	
3年後	必要な人に適正に利用してもらう				間接	可決率		%	0	100	
最終(概ね5年後)	必要な人に適正に利用してもらう				間接	可決率		%	0	100	
(7) 事業実施上の課題と対応	今後、各機関と調整し事業手法を検討したい				代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		ふれあい収集委託料	10,064	ふれあい収集委託料	10,064	ふれあい収集委託料	10,064	ふれあい収集委託料	10,064		
		消耗品・他	175	【債務負担】H29~H33		【債務負担】H29~H33		【債務負担】H29~H33			
		車両経費	651	消耗品・他	161	消耗品・他	161	消耗品・他	161		
1号嘱託職員	1,985	車両経費	1,869	車両経費	1,869	車両経費	1,869				
臨時職員(技能員)	60	1号嘱託	875	1号嘱託	875	1号嘱託	875				
予算(済)額	合計		12,935	合計		12,969	合計		12,969		
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%		
	県支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%		
	起債	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%		
	一般財源	12,935		12,969		12,969		12,969			
その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他		□特会 □受益 □債務 □基金 □その他		□特会 □受益 □債務 □基金 □その他		□特会 □受益 □債務 □基金 □その他				
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.7		0.4		0.6		0.6			
	正職員人件費	6,160		3,520		5,280		5,280			
	嘱託職員報酬額	2,231		934		934		934			
	臨時職員賃金額	0		0		0		0			
事業費(予算(済)額+正職員人件費)	19,095		16,489		18,249		18,249				
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	424.33千円/件		374.75千円/件								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
必要性	評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
		○本市の高齢化率は平成26年4月の26.5%から将来的には32%に上昇すると見込まれ、合わせて核家族化も進むと思われる。高齢者にとってごみや10種16品目に及ぶ資源を分別し集積所まで運ぶことは、介護サービスではまかないきれない範囲であり介護認定者以外の身体の不自由な人は、ごみ出しのために経済的負担を強いられることになる。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				
		○本事業は、より横断的に対応するため、単なる高齢者社会福祉として位置付けるのではなく、障害者、怪我人や妊婦などの一時的に身体の不自由な人まで対象を広げることで、多くの人のごみ出しの負担を軽減し、在宅で生活する上での				○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>				
参加・協働の工夫	市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり)	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		
		○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容>該当なし						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	環境に配慮して事業を進めているか?	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		
		□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他 <その他の内容>		収集車両は低公害車を使用している。				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
効率性	(1) 目標設定は適切か?	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		改善検討	
		100	100	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
		対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
(2) 事業費削減の工夫をしているか?	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	事業費削減率(%)		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>			
	16,489	2,606	13.65		<超過理由等>					
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か? (目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下			
	0.61	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									
評価	評価コメント					改善策及び展開方向			

事務事業評価表（平成29年度）

Header table with columns: 事業コード (322), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header

Post-evaluation table with columns for current status and evaluation comments.

事務事業評価表（平成29年度）

事業コード	323	課コード	0402	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	家庭ごみ収集事業	実施計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	②部課名	環境経済部・クリーンセンター			
	③事業主体	<input checked="" type="radio"/> 市 <input type="radio"/> その他 ()		④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市					
	⑤事業期間	～			⑥担当職員数	7人 (換算人数)	0.9人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初) 173,675千円 (うち人件費 7,920千円)	(変更後) 千円 (うち人件費 千円)			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	12102	重点プロジェクトへの位置づけ	重点1	基本計画地区別計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	部門別計画への位置づけ	(計画名)	一般廃棄物対策基本計画
(2) 目的	施策目的・展開方向	資源を大切に、資源の循環を進める暮らしを実現するため、市民、事業者、市が一体となって、総ごみ排出量の削減と福島第一原発事故以前の全国トップレベルの資源化率を回復するとともに、新たな廃棄物処理施設の整備に合わせた効果的なごみと資源の分別の研究などに取り組み、ごみの発生抑制を軸と			事業目的	市民の良好な生活環境を確保するため、安定した収集体制を確立し提供する。				
(3) 事業内容	内容	資源を大切に、資源の循環を進める暮らしを実現するため、市民、事業者、市が一体となって、総ごみ排出量の削減と福島第一原発事故以前の全国トップレベルの資源化率を回復するとともに、新たな廃棄物処理施設の整備に合わせた効果的なごみと資源の分別の研究などに取り組み、ごみの発生抑制を軸と			当該年度執行計画	市民からのごみ収集についての対応 粗大ごみ回収の受付 委託業者との連絡調整				
		当該年度活動結果指標	家庭ごみ収集箇所数 (市内全域)			単位	箇所	想定値	2,520	
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値
当該(開始)年度	迅速な収集体制				間接	迅速に対応できる収集箇所数 (1台/日)		箇所	97	98
3年後	迅速な収集体制				間接	迅速に対応できる収集箇所数 (1台/日)		箇所	0	100
最終(概ね5年後)	迅速な収集体制				間接	迅速に対応できる収集箇所数 (1台/日)		箇所	0	103
(7) 事業実施上の課題と対応	・増加する集積所に対応するため将来的には、収集地区の見直しを行い効率を図る必要がある。				代替案検討	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無				
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		
		内容	金額(千円)	内容	金額(千円)	実績値(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)
		家庭ごみ収集業務委託	146,863	家庭ごみ収集業務委託	150,996		家庭ごみ収集業務委託	150,996	家庭ごみ収集業務委託	150,996
		粗大ごみ収集業務委託	12,312	粗大ごみ収集業務委託	12,312		粗大ごみ収集業務委託	12,312	粗大ごみ収集業務委託	12,312
		臨時賃金(技能員)	217	【債務負担】H29～H33			【債務負担】H29～H33		【債務負担】H29～H33	
車輦経費	650	1号囃託職員賃金	437		1号囃託職員賃金	437	1号囃託職員賃金	447		
消耗品・他	175	消耗品・他	140		消耗品・他	140	消耗品・他	140		
1号囃託職員賃金	350	車輦経費	1,870		車輦経費	1,870	車輦経費	1,870		
予算(済)額	合計	160,567	合計	165,755		合計	165,755	合計	165,765	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0
	一般財源		160,567		165,755		165,755		165,765	
その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.7		0.9		0.9		0.9		
	正職員人件費	6,160		7,920		7,920		7,920		
	囃託職員報酬額	0		447		447		447		
	臨時職員賃金額	0		0		0		0		
事業費(予算(済)額+正職員人件費)	166,727		173,675		173,675		173,685			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	66.16千円/箇所		68.92千円/箇所							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	一般廃棄物処理は自治体の責務であり、市民に安定した収集体制を提供する必要がある。				<input type="checkbox"/> ①事前確認での想定どおり <input type="checkbox"/> ②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				<input type="radio"/> 要 <input type="radio"/> 不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	<input checked="" type="checkbox"/> ①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input checked="" type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		<input type="checkbox"/> ①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <input type="checkbox"/> ②市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> ③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> ④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input type="checkbox"/> ⑤サービス水準が確保された <input type="checkbox"/> ⑥サービスの安定供給基盤が確保された <input type="checkbox"/> ⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫		参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容	
	<input type="checkbox"/> ①事業計画時に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ②事業実施時に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ③管理・運営に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ④市民の自主的な活動と連携している <input type="checkbox"/> ⑤市民と共同で事業を実施 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥その他		<その他の内容> 該当なし				<input type="checkbox"/> ①当初期待した以上 <input type="checkbox"/> ②当初期待したとおり <input type="checkbox"/> ③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		<input type="radio"/> 要 <input type="radio"/> 不要
	<input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input checked="" type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している <input type="checkbox"/> ⑤その他		収集車両は、低公害車を使用。				<input type="checkbox"/> ①想定どおり <input type="checkbox"/> ②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (箇所)	目標値(b) (箇所)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		<input type="checkbox"/> ①目標値達成 <input type="checkbox"/> ②目標値未達成		<input type="radio"/> 要 <input type="radio"/> 不要
	97	98	<input type="checkbox"/> ①客観的なデータ・事実に基づき設定している <input checked="" type="checkbox"/> ②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない <input type="checkbox"/> ③現況値との差が小さい値ではない <input type="checkbox"/> ④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f) (箇所)		達成率(%) (f/b×100)		
	<目標を達成した理由/未達成となった原因>								
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		<input type="checkbox"/> ①想定事業費未済 <input type="checkbox"/> ②概ね想定事業費以内 <input type="checkbox"/> ③想定事業費超過		<input type="radio"/> 要 <input type="radio"/> 不要
	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	<input type="checkbox"/> ①国・県助成制度活用 <input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 <input type="checkbox"/> ②現行体制での対応 <input type="checkbox"/> ⑥受益者負担 <input type="checkbox"/> ③維持管理費の削減策の実施 <input type="checkbox"/> ⑦その他 <input checked="" type="checkbox"/> ④民間委託		実績値(g) (千円)		対事業費(%) (g/c)×100		
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>		<想定どおり削減できなかった原因>		
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		<input type="checkbox"/> ①目標値以上 <input type="checkbox"/> ②目標値と同程度 <input type="checkbox"/> ③目標値以下		<input type="radio"/> 要 <input type="radio"/> 不要
	0.06	単位	費用単位	<input checked="" type="checkbox"/> ①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 <input type="checkbox"/> ②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)		対目標値(%) (h/e)×100		

3. 事後評価									
<input type="checkbox"/> 現状どおり推進 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 結合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業手法見直し <input type="checkbox"/> その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------

事務事業評価表(平成29年度)

Header table with columns: 事業コード (1938), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple sub-tables for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with checkboxes for progress, expansion, contraction, etc.

Final evaluation table with columns for 評価 (Evaluation) and 改善策及び展開方向 (Improvement and expansion direction).

事務事業評価表（平成29年度）

Header table with columns: 事業コード (2088), 課コード (0402), 会計種別, 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with a detailed budget breakdown for fiscal years 28, 29, and 30.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, citizen participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a status legend (現状, 拡充, 縮小, etc.) and a space for comments and future strategies.

事務事業評価表（平成29年度）

Header table with columns: 事業コード (2180), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre/post evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.